

2020年度 事業計画書

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

公益社団法人日本オリエンテーリング協会 中長期事業方針 (2020)

日本におけるオリエンテーリングは、導入以後 50 年余りが経過し、知的でかつ冒険的な、誰もが参加できる野外スポーツとして、徐々にではあるがその社会的認知は進みつつある。公益社団法人日本オリエンテーリング協会 (JOA) は、その統括団体として、普及と社会的認知の向上、競技力と技術の向上、選手の育成、国際協力、そして社会貢献に取り組んできた。今後も引き続き、近未来のスポーツ文化の視点からオリエンテーリングの本質を見つめ、より人々に親しまれるようにするとともに、オリエンテーリングにかかわる人々が喜びを感じ、人間力の向上が得られることを目指したい。そのために、以下の 5 つの目標の達成を目指している。

1. 生涯スポーツとして、健康と生きがいのある豊かな人生をつくる。
2. 競技スポーツとして、自律の精神でフェアに挑戦する競技力と人格の向上を目指す。
3. 日本と世界をオリエンテーリングでつなぎ、国際友好に貢献する。
4. 社会に役立つ知識とスキルを広める。
5. 自然の中で行われる野外スポーツとして、環境に対して畏敬の念を持つ。

上記に述べた目標を具体化するために、過去において多くの目標を設定し、行動してきた。その中には達成できたものもあるが、いまだに達成できていないもの、手の付けられていないもの、新たな課題が浮かび上がってきたものがあり、引き続き達成に向けての努力が必要である。

また、スポーツ界における様々な不祥事などを受けて、スポーツ庁は 2019 年 6 月に、「中央スポーツ団体向けのガバナンスコード」を策定し、組織のあり方の指針を示した。JOA としてもこれに従い、今後も持続可能な組織であるためのあり方を確立してゆく必要がある。

そこで、上記の目標達成のため、2020 年以降、以下のような具体的行動目標を設定する。

一方、これらの目標を達成するためには、具体的な目標設定のみではなく、次のような本質的な課題に対する議論を行い、その広報・伝達を展開してゆく必要がある。すなわち、1. オリエンテーリングの本質、スポーツとしての特性は何か。2. オリエンテーリングの歴史的過程を踏まえた、競技スポーツ、生涯スポーツとしての社会的、文化的、教育的意義は何か。3. 野外・自然環境を実践の場とするオリエンテーリングが他のスポーツと異なる理念は何か? といったことである。オリエンテーリングの本質に係わるこうした議論も継続してゆく。

2020 年以降の行動目標 (目標達成期間)

IOF(International Orienteering Federation)の事業への協力・参画

WOD(World Orienteering Day)事業や各種講習会など (毎年継続)

国際大会の招致

世界・地区選手権大会開催 (隔年)、WRE(World Ranking Event)の毎年開催

IOF への役員・委員派遣

委員の派遣 (継続)、理事への立候補 (次期～次々期改選)

世界選手権などへの選手派遣 (毎年継続)

世界に通用する選手の発掘、戦略的育成

コーチング制度の確立 (2 年以内)、選手育成のための系統的指導方法の確立 (5 年)

ジュニア世代の育成

ジュニア世代対象イベントの充実 (3 年以内)

選手・役員のマナー・コンプライアンス教育、アンチ・ドーピング教育 (継続)

指導者・イベントアドバイザーの充実 (2 年以内)

主催大会 (全日本選手権) の安定的開催、参加者増 (目標各大会 1,000 人超)、質の維持、公認大会の増加 (2 年以内)

競技規則やガイドライン等の規程類の適切な管理 (2 年以内に見直し、以後継続)

地方活性化支援、地域クラブ活性化支援

支援モデルの作成 (3 年以内)、各種支援方法の模索・実践 (継続)

広報の強化

各種媒体による広報システムの見直し・構築 (2 年以内、以後継続)

楽しさのアピール、充実感の創出

ありたい大会モデルの呈示 (3 年)

大会運営サポート体制・大会運営技術の普及

大会における運営モデルの呈示、技術講習会など (3 年)

JOC 承認団体から準加盟団体への昇格 (5 年)
 アウトドアスポーツ界、陸上競技界との協働
 協働イベント年間 5~10 回 (3 年)
 大学スポーツへの採用
 UNIVAS 事業への協力 (継続)、学会等の学術団体との交流 (継続)
 高校の部活動との協働による登山界への認知
 高校体育連盟の事業への協力 (継続) と参入 (5 年)
 教育施設 (小中学校、野外活動施設) に向けてのアプローチ
 野外活動施設・学校の地図作製・教育事業への協力 (継続)
 パーマネントコース (PC) の活用
 整備体制・システムの見直し (3 年~継続)、広報体制の検討 (継続)
 地域への貢献: スポーツツーリズムによる地域活性化
 地方行政事業への協力・参画 (継続)
 各種技術 (読図、ナビゲーション、大会運営、地図作成) の社会還元
 講習会開催・情報発信 (継続)
 適切な役員選任、組織運営の見直し
 役員選任方法の改訂 (2 年)、外部役員招聘 (4 年)、委員会等内部組織構造の見直し (継続)
 コンプライアンス、リスクマネジメント
 規定類の整備 (2 年)、情報収集体制の確立 (3 年)
 事務局の強化
 事務局員の増加と業務分担の見直し (3 年で人数倍増)
 財政健全化
 収入財源の確保・見直し (継続)
 ボランティアとエキスパートの協働体制の構築
 協働モデルの呈示 (3~5 年)
 将来構想委員会の構築
 メンバーの選任 (2 年)、継続的議論

公益社団法人日本オリエンテーリング協会 2020 年度事業方針

公益社団法人日本オリエンテーリング協会 中長期事業方針 (2020) に基づいて、2020 年度事業として引き続き継続・強化すべき事業、早期に着手すべき事業、その担当部門は以下の通りとする。(注: 担当部門は現在の組織・委員会を前提としており、その再編もあり得る。)

1. IOF の事業への協力、国際大会の招致、IOF への役員派遣 (国際)
2. 世界選手権などへの選手派遣 (強化、スキー、MTB、トレイル)
3. 選手強化のための系統的指導方法、コーチング制度の確立 (強化、普及教育)
4. ジュニア世代の育成 (ジュニア)
5. アンチ・ドーピング教育 (アンチ・ドーピング)
6. 指導者・イベントアドバイザーの養成 (普及教育、競技)
7. 競技規則やガイドライン等の規程類の適切な整備・管理 (競技、地図)
8. 主催大会 (全日本選手権) の安定的開催と質の維持、公認大会の増加 (全日本、競技)
9. 地方活性化支援、地域クラブ活性化支援 (地域活性化)
10. 広報の強化 (総務、事務局)
11. 大会運営サポート体制・大会運営技術の普及 (普及教育、競技)
12. アウトドアスポーツ界・陸上競技界との協働、大学スポーツへの採用、高校の部活動との協働 (総務、普及教育)
13. 各種技術 (読図、ナビゲーション、大会運営、地図作成) の社会還元 (資格認定 NI、普及教育)
14. 適切な役員選任、組織運営の見直し、事務局の強化、財政健全化 (総務、事務局)
15. 選手・役員のコンプライアンス教育、リスクマネジメント (危機管理・コンプライアンス)
16. WMG/WMOC2021 に向けての準備 (WMG2021)
17. 将来構想委員会の構築準備 (総務、事務局)

2. 事業内容

[公1] 普及指導に関する事業

1.1 指導者養成、資格認定、登録

- 1.1.1 オリエンテーリング・ディレクタ講習会(1.2級)を開催する。
- 1.1.2 ディレクタ及びインストラクタに対して情報提供を行う。
- 1.1.3 協会並びに会員の養成したディレクタ、インストラクタの資格審査、認定・登録を行う。
- 1.1.4 日本スポーツ協会公認スポーツ指導員制度へのオリエンテーリング種目の位置づけへの取組を行う。
 - a.発足に向けた検討、日本スポーツ協会との協議、および関係者への周知。
 - b.カリキュラムの検討と講義資料・テキストの作成。
- 1.1.5 ナビゲーション・インストラクタ養成講座・研修会を開催し、ナビゲーションスキルを認定する。
- 1.1.6 イベントアドバイザー講習会・研修会を開催し、資格認定を行う。
- 1.1.7 トレイルイベントアドバイザー講習会を開催し、資格認定を行う。

1.2 常設コース

- 1.2.1 行政機関、企業及び会員等により設置申請のあったコースについて判定・認定及びコース設定、地図に関する指導を行う。
- 1.2.2 認定常設コースの規格器材の指導を行う。
- 1.2.3 常設コース情報の整備及び活用方法を検討する、ネットプリントの推進を図る。

1.3 距離認定表彰

- 1.3.1 オリエンテーリング 100キロコンペ大会の認定を申請に基づき認定する。
- 1.3.2 オリエンテーリング 100キロコンペの参加申請にたいし、走歩距離の認定を行い、一定距離毎に表彰を行う。
- 1.3.3 オリエンテーリングのレガシーとして全国に現存するパーマナントコースの維持・活用、および時代環境に合わせた再構築に向けた研究を行う。
- 1.3.4 100km コンペ制度の今後のあり方の研究を行う。

1.4 普及及び受託事業

- 1.4.1 普及に関する研修会・講習会を開催する。
- 1.4.2 活動が停滞している会員に対し、普及・活性化のための指導・育成を図る。
- 1.4.3 加盟していない県組織に対し、情報活動を行うとともに、加盟への働きかけと指導を図る。
- 1.4.4 民間企業等からの受託事業の推進を図り、実施する。
- 1.4.5 野外活動施設、民間企業への普及を図る。
- 1.4.6 ワールドオリエンテーリングディの実施を推進し、学校教育への新たな導入への方策を検討する。
- 1.4.7 クラブを認定する制度について検討する。
- 1.4.8 高校登山部への技術指導について、高体連登山部と協力する。
- 1.4.9 大学教育への取り入れについて調査研究と情報提供を行う。

1.5 広報

- 1.5.1 会員及び競技者、指導者他行政、企業、報道関係に対し、積極的に情報の提供を行う。
- 1.5.2 JOA ニュースの編集、発行を行う。
- 1.5.3 ホームページ維持管理及び充実を図り、情報の提供を行う。
- 1.5.4 プレスリリースを実施する。
- 1.5.5 オリエンテーリング年鑑の作成をする。
- 1.5.6 理事会・事務局便りの発行を行う。
- 1.5.7 Facebook、Twitterにて情報を発信する。
- 1.5.8 JOCの「スポーツと環境」に賛同し、大会等において環境のための啓発活動を推進する。

1.6 地域活性化委員会

- 1.6.1 各地区からの助成金申請への対処
 - ・各会員から提出される助成金申請に対する審査、回答書案の作成。
- 1.6.2 モデル事業「九州地区活性化」

・九州地区について、各種活性化活動を行い、今後の他地区への波及を狙う。

I. 九州地区全域の広報連携活動。

- ①総合ポータルサイト(Web)の立ち上げ。
- ②連絡窓口の設置。(メールアドレスの設定)
- ③委員会開催。(概ね2回/年、今後の活動内容、予算等の検討)

II. オリエンテーリング資産の整理。

- ①地図の情報集約とテレイン利用の体制整備。
- ②オリエンテーリング関連イベントの情報集約と広報。

III. 人材の確保

- ①オリエンティアの情報ネットワーク構築
- ②オリエンティアへの呼びかけ(ふるさと登録)
- ③野外センター等、関連施設への呼びかけ。

1.6.3 会員、クラブ、競技者、愛好者の増加、活性化に向けた調査、検討、施策を実施する。

1.6.4 集会を開催し、広く意見を募り、活性化への施策の検討を行い、実施する。

【公2】 競技会の開催及び公認に関する事業

2.1 主催大会

2.1.1 国内に於いて次の大会を主催する。

| | | |
|-------------------------------|----------------|----------------------|
| a. 第46回全日本オリエンテーリング選手権大会 | 11月21日 | 長野県[公認A/WRE対象] |
| b. 第8回全日本ミドルオリエンテーリング選手権大会 | 11月22日 | 長野県[公認A/WRE対象] |
| c. 第16回全日本トレイルオリエンテーリング選手権大会 | 月 日 | 未定 |
| d. 第13回全日本スプリントオリエンテーリング選手権大会 | 12月6日 | 東京都 |
| e. 第29回全日本リレーオリエンテーリング選手権大会 | 11月8日 | 鹿児島県 |
| h. 第1回全日本ジュニアオリエンテーリング選手権大会 | 2021年3月 | 未定 |
| f. 第10回全日本スキーオリエンテーリング選手権大会 | | |
| パシュート・スプリント | 2021年2月13日～14日 | 未 |
| ミドル・リレー | 2021年3月 日～ 日 | 北海道 |
| g. WMG/WMOC 関西プレイベント大会 | スプリント | 5月4日 神戸市 [公認S] |
| | ミドル | 5月5日 養父市 [公認A/WRE対象] |
| | ミドル | 5月6日 香美町 [公認A/WRE対象] |

2.2 公認大会の受理と認定

2.2.1 会員よりの公認大会申請を受け、競技規則に基づいて認定を行う。

2.2.2 大会イベントアドバイザーの任命、選手権(E)クラスの推薦の審査、記録の認定等を行う。

2.2.3 年齢別ランキングの見直しを行う。

2.3 国際大会の開催

2.3.1 ワールドランキングイベントを開催する。

2.3.2 WMG/WMOC2021 関西の準備を進める。

2.4 その他の競技会

2.4.1 ナヴィゲーションゲームズ2020を賛同する団体と共催し開催する。

2.5 賠償責任保険及び傷害保険

2.5.1 会員と協力して、賠償責任保険を締結する。

2.5.2 JOA 主催事業の大会、練習会・合宿及び、公認大会等への参加者及び運営者への傷害保険を締結する。

2.6 規程・規則

2.6.1 オリエンテーリング競技に関する規則類を、競技の実情を見ながら適宜更新する。

・競技委員会(フットO)、スキー委員会(スキーO)、トレイル委員会(トレイルO)

2.6.2 地図図式等の整備、普及活動

- a. ISCD2018 の翻訳
 - b. ISOM2017,ISSprOM2019 の解説資料の作成
 - c. 最近の地図調査の技術についての調査、研究。
- 2.6.3 スキーO、トレイルO、MTBO地図図式等の整備及び検討。
- 2.6.4 組織の健全な運営のために規程類の整理・改廃を行う。

2.7 アンチ・ドーピング

- 2.7.1 ドーピング検査の実施に協力する。
- 2.7.2 WOC,JWOC 等に向けた強化合宿において講習会を実施する。
- 2.7.3 JADA の協力を仰ぎ教育啓発活動を行う。
- 2.7.4 日本学連における教育啓発活動を充実していく。
- 2.7.5 選手からのアンチ・ドーピングに関する相談に応じる。
- 2.7.6 日本スポーツフェアネス推進機構及び、JADA と連携し国内でのアンチ・ドーピング活動に貢献する。

2.8 競技者登録

- ・競技者登録を行い、登録者に対して情報提供を行う。

2.9 競技委員会

- 2.9.1 委員会の開催
- 2.9.2 規程類の保守
 - ①日本の競技規則を I O F の構成に準拠した形で再編する。
 - ②イベントアドバイザー資格認定に関する規則を改正する。
 - ③その他
- 2.9.3 ハンドブックの作成
 - スタート/フィニッシュの運営及び計時に関するハンドブックを作成する。
- 2.9.4 公認大会の認可、イベントアドバイザーの任命、Eクラス推薦の審査及び記録の認定を行う。
- 2.9.5 年齢別ランキングの見直し。

[公3] 競技力向上に関する事業

3.1 世界選手権への選手派遣、役員派遣

- 3.1.1 WOC [2020年7月7日～7月11日 デンマーク]への選手・役員派遣を行う。
- 3.1.2 JWOC [2020年6月28日～7月5日 トルコ] への選手・役員派遣を行う。
- 3.1.3 WCup [2020年5月20日～24日 スイス]、[10月1日～6日 イタリア]、への選手・役員派遣を行う。
- 3.1.4 AsOC [2020年5月1日～5日 韓国]への選手・役員派遣を行う。
- 3.1.5 WMOC [2020年8月7日～15日 スロバキア]への選手参加への協力を行う。
- 3.1.6 WTOC [2020年11月28日～12月5日 香港] への選手・役員派遣を行う。
- 3.1.7 WMTBOC [2020年8月17日～23日 チェコ] への選手・役員派遣を行う。
- 3.1.8 WMMTBOC [2020年9月9日～13日 フィンランド] への選手・役員派遣を行う。
- 3.1.9 WSOC&JWSOC [2021年2月22日～3月1日 エストニア] への選手・役員派遣を行う。
- 3.1.10 壮行会・報告会を開催する。

3.2 選手認定事業「フットO」

- 3.2.1 WOC,WCup, AsOC 等に、出場する選手を選考し代表チームを編成する。また、選考会の開催、代表選手の認定・派遣、合宿開催等による強化、情報提供、支援活動及び報告会を実施する。
- 3.2.2 強化選手の指定(フォレスト A,B,強化指定選手)を行い、強化合宿・練習会等による強化の他、情報提供、支援活動を実施する。

3.3 選手認定事業「ジュニア」

- 3.3.1 JWOC, AsOC 等に選手を選考し、代表チームを編成する。また、選考会の開催、代表選手の認定・派遣、合宿開催等による強化、情報提供、支援活動及び報告会を実施する。
- 3.3.2 U20.U18 強化選手の指定、強化合宿・練習会等による強化の他、情報提供、支援活動を実施する。

3.3.3 国内における若手選手の発掘・育成する。

3.3.4 ジュニア向け指導書の作成を行う。

3.4 選手認定事業「スキーO」

3.4.1 国際大会への参加支援

- a.世界スキーオリエンテーリング選手権大会への日本代表選手派遣。
- b.冬季ユニバシアート総合競技大会への日本代表選手派遣(スイス)
- c.ワールドカップへの日本代表選手派遣。
- d.ジュニア世界選手権への日本代表選手派遣。
- e.ヨーロッパアンユース選手権への日本選手オープン派遣。
- f.その他、海外開催のオープン大会への参加支援。

3.4.2 強化活動

- a.強化選手の指定。(世界選手権並びにユニバシアート)
- b.強化合宿の開催(残雪期、夏期、秋期、冬期×3回)全6回程度。
- c.フット強化合宿への参加支援。

3.4.3 代表用具の整備

- a.日本代表ウェアの整備。
- b.競技用具の整備。

3.4.4 代表選手教育

- a.マナー、ドーピング、インテグリティ、代表選手規範の教育。

3.4.5 大会の開催

- a.全日本大会(スプリント、パシュート、スプリントリレー、ミドル)の実施。
- b.ローカル大会開催の支援。

3.4.6 普及・広報活動

- a.強化候補選手の発掘
 - ①クロスカントリースキー競技を行っている高校生、大学生への広報活動。
 - ②初心者講習会の開催。
- b.スポンサーの獲得活動。

3.4.7 競技基盤の整備

- a.競技規則の整備、周知活動。
- b.指導者講習会の開催。
- c.委員会組織体制の強化。
- d.IOF活動の支援。

3.4.8 国際大会の招致

- a.2024年世界スキーオリエンテーリング選手権大会の日本開催招致活動。

3.5 選手認定事業「トレイルO」

3.5.1 WTOC への、選手を選考し、代表チームを編成する。及び、選考会の開催、代表選手の認定・派遣、合宿開催等による強化、情報提供、支援活動及び報告会を実施。

3.5.2 パラリンピッククラス競技人口の増大、障害者団体・障害者スポーツ協会等への働きかけを行う。

3.6 選手認定事業「MTBO」

3.6.1 MTBO広報用パンフレットの作成、配布。

3.6.2 ローラーチャレンジ、MTBO体験会開催。

3.6.3 Web.SNS.mail 等を活用した広報、記事を発信。

3.6.4 海外へのチーム派遣、国内強化活動[練習・合宿]を実施。

3.7 スポーツ助成等への申請

3.7.1 (独法)日本スポーツ振興センターのスポーツ振興基金助成に応募し、選手強化活動、競技会活動を実施する。

3.7.2 toto 補助金事業に応募し、普及活動、指導者育成活動、アンチドーピング活動を実施する。

3.7.3 (公財)JKA の補助事業に応募し、選手強化活動、競技会活動を実施する。

3.7.4 (公財)ミズノスポーツ振興財団の助成事業に応募し、選手強化活動、競技会活動を実施する。

3.8 女性の競技力向上

- 3.8.1 女性向けオリエンテーリング講習会(トレーニングキャンプ2020)の開催をする。
- 3.8.2 女性競技者増加、活性化を目的としたイベントの実施、意見収集/PR 活動/サポートの仕組み構築。

3.9 コンプライアンス

- 3.9.1 マナー・コンプライアンス教育を実施する。

[その他目的達成に必要な事業]

4.1 関係諸機関・団体との連携事業。

- 4.1.1 所管機関等と普及・指導の活動に務める。
- 4.1.2 JOA 加盟団体・関係団体の組織強化に務める。
- 4.1.3 JOC 国際人養成アカデミーに参加する。

4.2 外部団体等への加盟、派遣

- 4.2.1 我が国を代表し、国際オリエンテーリング連盟に引き続き加盟し、委員会等へ派遣を行う。
 - a. IOF の専門委員会に委員を派遣する。
 - b. アジア各国連盟とともに、アジア地区のオリエンテーリングの普及発展に IOF と連携して取り組む。
 - c. Sport for Tomorrow コンソーシアムに参加し、同事業に協力する。
- 4.2.2 (公財)日本オリンピック委員会に引き続き加盟し、各委員会等へ派遣を行う。
- 4.2.3 (公財)日本スポーツ協会に引き続き加盟する。
- 4.2.4 (公財)日本アンチ・ドーピング機構に引き続き加盟する。
- 4.2.5 (一社)日本スポーツフェアネス推進機構に引き続き加盟する。
- 4.2.6 野外活動団体協議会に引き続き加盟する。
- 4.2.7 (一社)大学スポーツ協会に引き続き加盟する。

4.3 組織と財政基盤の強化

- 4.3.1 財政の健全化のための諸方策を継続検討し、実施する。
- 4.3.2 寄附金募集事業
- 4.3.3 オフィシャルスポンサーの及びオフィシャルサプライヤーの開拓を行う。
- 4.3.4 組織の効率的な運営のため、委員会の再編を行う。
- 4.3.5 事務局の組織強化
- 4.3.6 組織の将来構想検討を行う。
- 4.3.7 ガバナンスコードに遵守に向けての対応。

4.4 社会認知と企業協賛に向けたコラボレーション

- 4.4.1 全国規模スポーツ大会への採用働きかけと、スポーツ協会等への都道府県協会への加盟促進。
- 4.4.2 企業協賛に向けたコラボレーション事業を検討する。

附則(略称)

| | |
|-------------|--------------------------|
| AsOC | (アジアオリエンテーリング選手権) |
| AsJYOC | (アジアジュニアユース選手権) |
| JADA | (公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構) |
| JOC | (公益財団法人日本オリンピック委員会) |
| JWOC | (ジュニア世界オリエンテーリング選手権) |
| JWSOC | (ジュニア世界スキーオリエンテーリング選手権) |
| IOF | (国際オリエンテーリング連盟) |
| ISOM | (国際オリエンテーリング地図図式規程) |
| ISSprOM2019 | (国際スプリントオリエンテーリング図式規程) |
| UNIVAS | (一般社団法人大学スポーツ協会) |
| WOC | (世界オリエンテーリング選手権) |
| WUSOC | (世界学生スキーオリエンテーリング選手権) |
| WMOC | (世界マスターズオリエンテーリング選手権) |
| WTOC | (トレイル・オリエンテーリング世界選手権) |
| WMTBOC | (マウンテンバイクオリエンテーリング世界選手権) |
| WSOC | (世界スキーオリエンテーリング選手権) |
| WMSOC | (世界マスターズスキーオリエンテーリング選手権) |
| WMG | (ワールドマスターゲームズ) |
| WG | (ワールドゲームズ) |